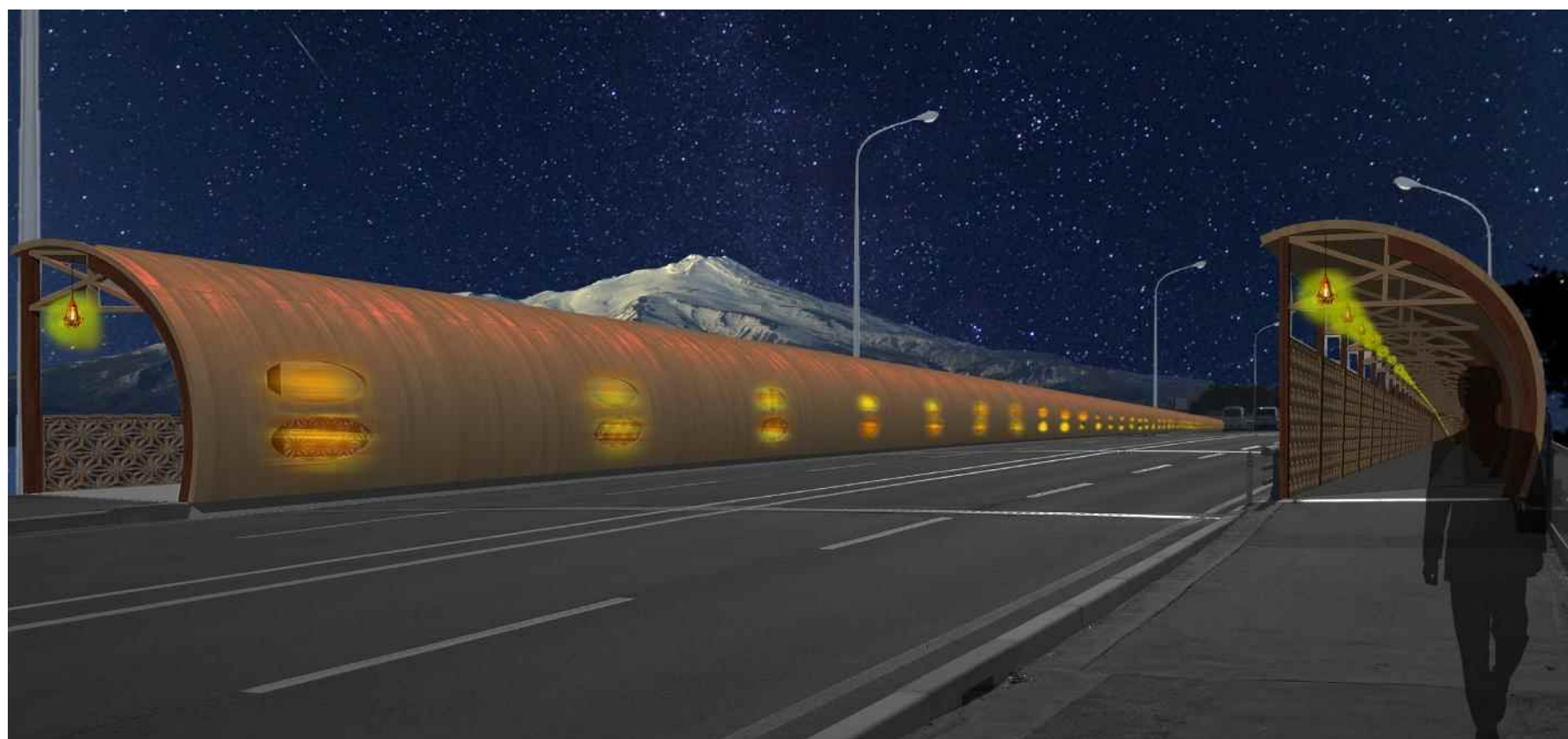
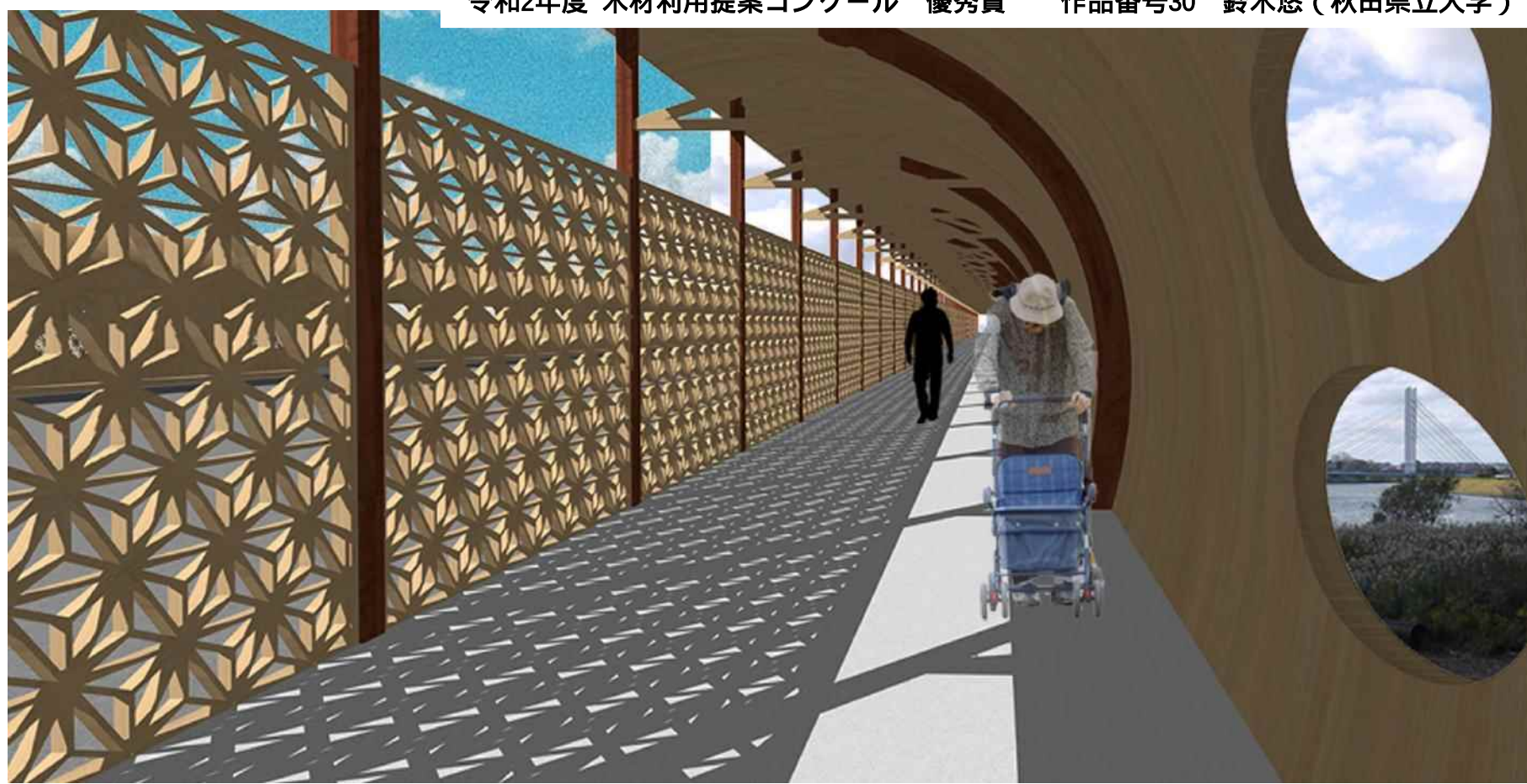




風と雪と街と人

土木という文字は、「土」と「木」からなる。公共空間に木を添える提案である。東北の自然は激しく、目紛しい。しかし大らかで、愉快である。現在の「飛鳥大橋」の在り方に疑問を持っていた私は、厳しい冬はシェルターのように人を守り、春や夏、秋は季節の風を感じながら景色を楽しめるような地域に根差した建築物を提案する。

Site

飛鳥大橋（秋田県由利本荘市 / 子吉川）



現在の橋の様子

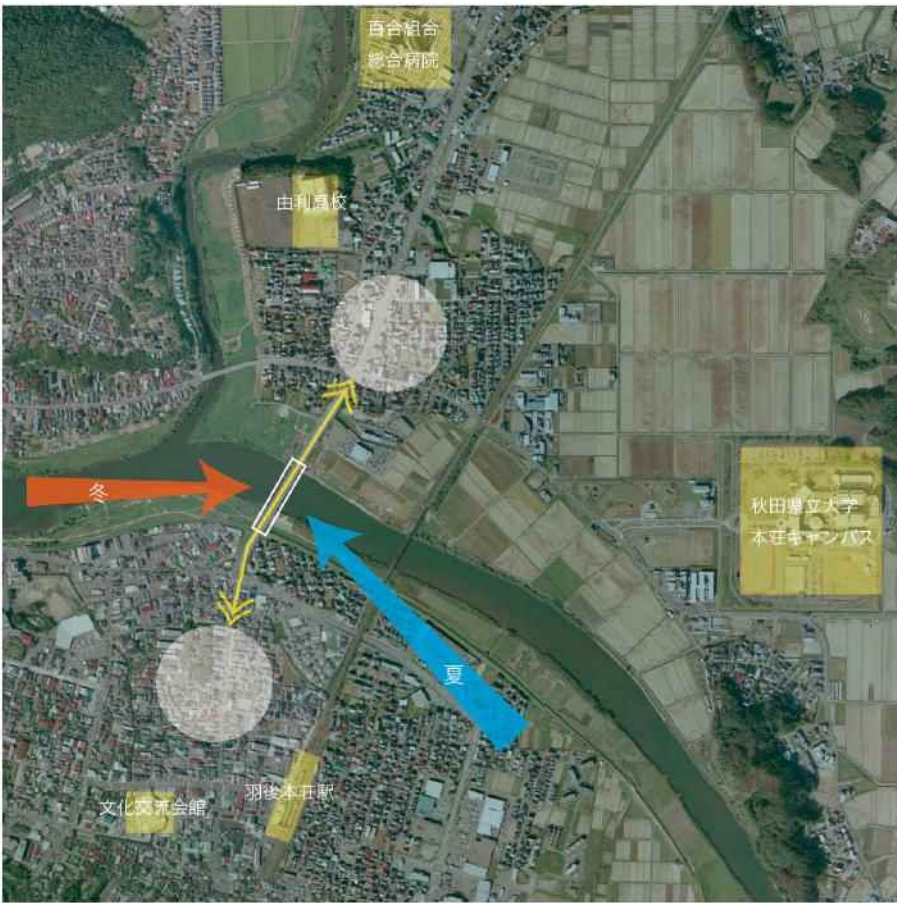


冬の橋の様子

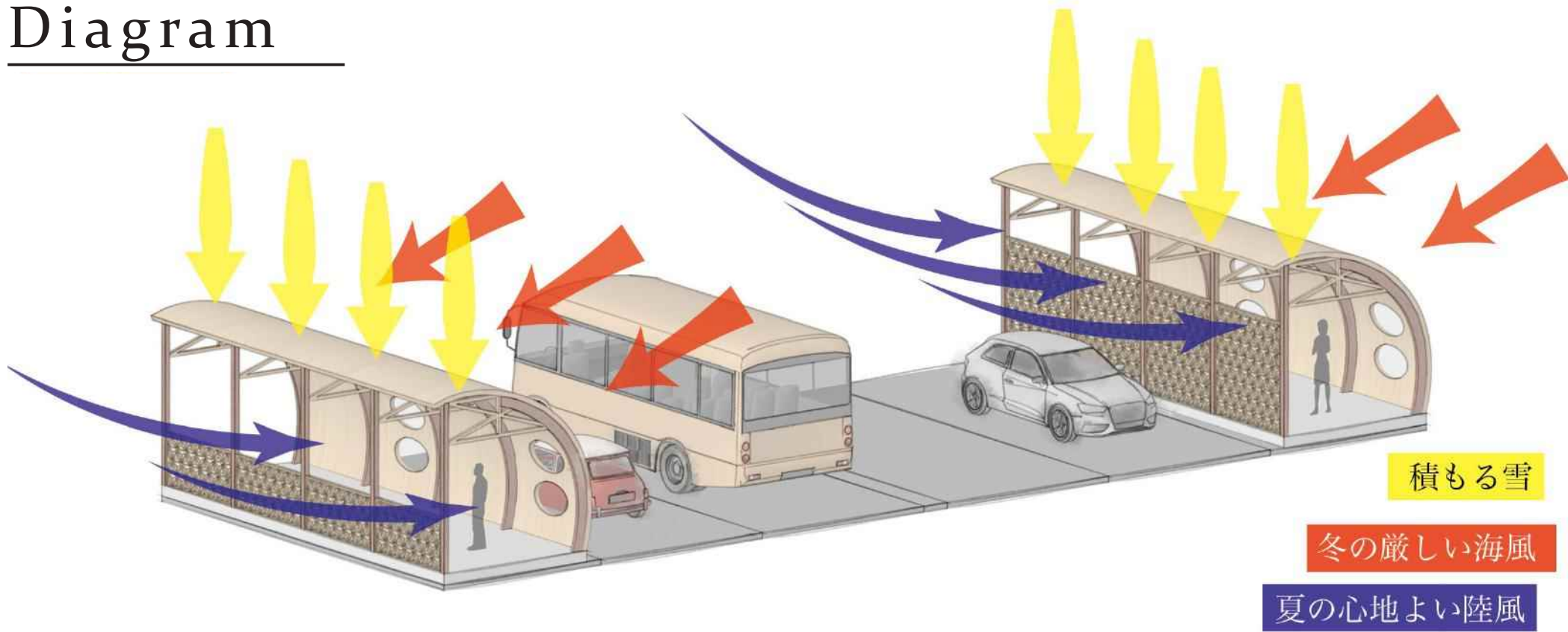


大学前にて

対象は駅前の繁華街と大学や高校。総合病院をつなぐ橋。しかし、橋の上は冬は西からの海風が、夏は島海山側（東南）の陸風が強く吹き荒れる（風力発電が盛んな地域）。朝と夕の登下校による学生や市街地に出かけていく高齢者といった歩行者が多く見られるが、バスの利用者は減少傾向にあり、本数は減少している。



Diagram



Issue

- 「多くの問題点」
- ・プラスチックの風除けは、壊れてしまっており景色を楽しむことができない。
- ・風除けは高さが低く由利本荘市の風に対応できていない。
- ・外灯も少なく、夜道は暗い。
- ・冬はホワイトアウトすることも…



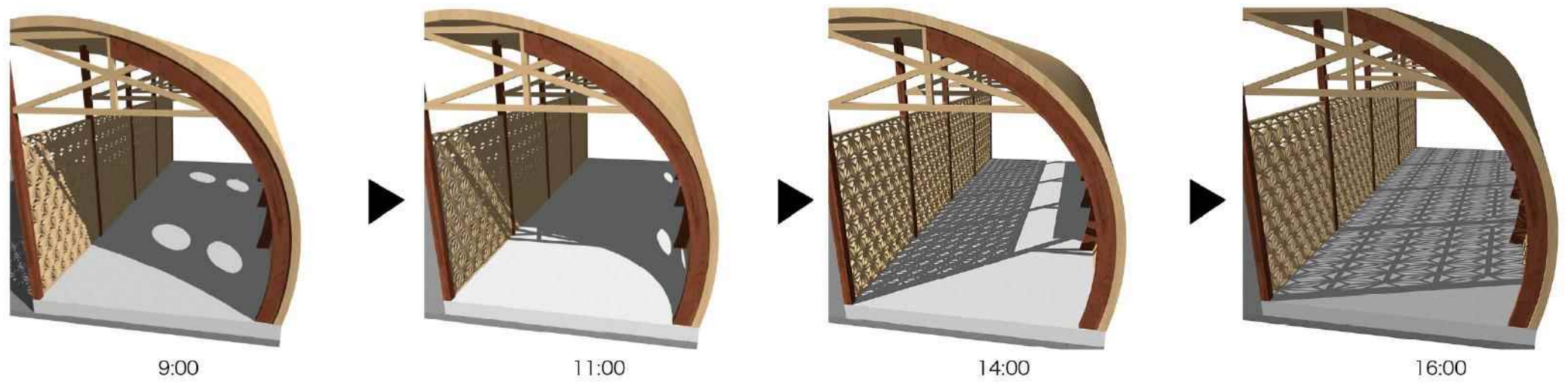
本来であれば広がっている景色



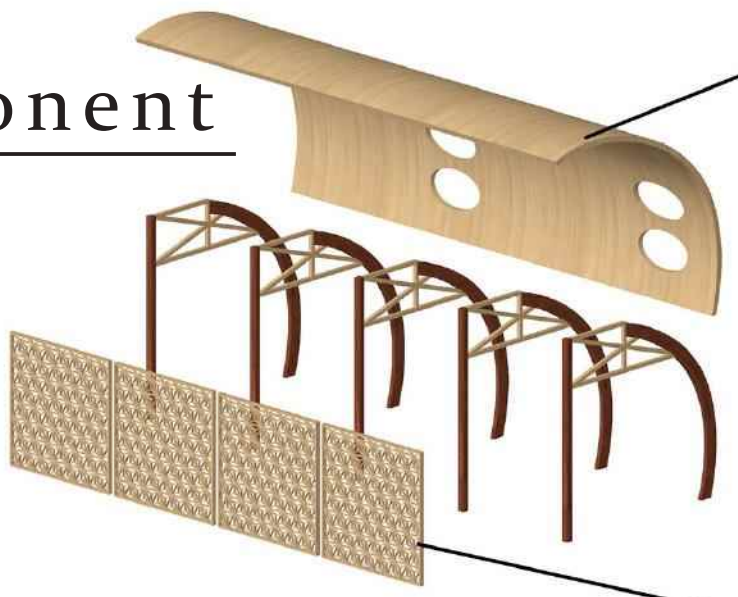
現在の風除け

Program

組子の影は、1日の時間流れを可視化する。
由利本荘市（3月20日）：晴れでのシュミレーション



Component

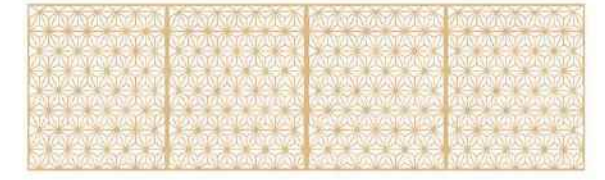


曲げわっぱ

秋田県を代表する特産品。昭和55年には、国の伝統的工芸品に指定。



由利本荘市、横手市、能代市など秋田県各地で生産されている伝統的な木材工芸品。



組子

